

## 「第11回全国模擬授業大会」の開催にあたって

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 先週土曜日の5月21日に栃木県育英会がやっていらっしゃる栃木県学生寮のOB・OG会が宇都宮市でありました。私も13期生として、東京の駒場にある栃木県学生寮にお世話になりましたので、OB・OG会に参加させていただきました。今でも覚えています、栃木県学生寮は東京都の真ん中の目黒区大橋2-20-10というところにありました。静かなところにある、いい学生寮でした。当時は男子寮と女子寮があり、男子寮のほうが人数が多かったです。今は逆転しているようです。私はそこで大学1年生と2年生の2年間を過ごさせていただきました。素晴らしい先輩も同級生もたくさんいましたので、本当にいい仲間ができて、素晴らしい生活が送れてよかったなあと思っています。
3. 男子寮には、村上春樹の「ノルウェイの森」のような雰囲気が漂っていました。当時を振り返ると、「ああ、似ているなあ」と思います。ですから、皆さんも東京近辺の大学等に進学される場合には、栃木県学生寮を活用して大学生生活を送っていただければと思います。
4. さて、5月29日には、開倫塾主催の「第11回全国模擬授業大会」が、栃木県足利市にある足利工業大学附属高校をお借りして行われます。そこで今日は、その紹介を少しさせていただきます。
5. 先生が授業をする際に一番難しいのは、授業の導入部分です。導入部分は、今日の授業で学習する内容の本質を生徒さんたちに理解していただくためにあります。それがとても難しいので、ではどのように説明したらわかりやすいのか・学ぶ意味や楽しさを教えられるのか・一定限度の学習効果が得られるのかなどを工夫すること、つまり教え方を工夫することが、全国模擬授業大会のねらいです。
6. 今回の大会には、教え方日本一を目指して、腕に自信のある学校の先生・予備校の先生・学習塾の先生が北は北海道、南は鹿児島県から参加して授業をなさってくださいます。開倫塾主催ですのでやはり学習塾の先生が多いですが、合計50名の先生方が全国から集まり、授業の導入部

分の 15 分間の教え方を競ってください。お陰様で、今回が 11 回目になります。盛大に行われ、見学する方々を含めると今のところ 450 名くらいの参加者が見込まれています。

7. 審査は、学校の校長先生や学校関係者の方、各学習塾の塾長先生、一般の方などがしてください。全部で 37 名です。ありがたいことに、CRT 栃木放送の高瀬さんも審査員の一人に加わってください。

また、今年からは学生さんにもボランティア審査員になっていただきます。事前に学生ボランティア審査員を募集したところ、なんと 58 名の中学生・高校生・大学生・大学院生の方が集まってくださいました。皆さんには、私の教わりたい先生という観点で教え方日本一の先生を選んでいただき、各先生方にメッセージをいただくという仕組みになっています。

8. 学習塾でも学校でも、先生方は一所懸命に準備をして授業をなさいます。ただ、教え方がうまい先生に教わると、「あ、これはこういうことなのか」とよくわかります。この模擬授業大会では、何のために学ぶのか・勉強は社会に出てからも意味があるのかなどについてもお話していただくことになっていますので、学ぶ意味や楽しさもわかります。

また、授業は最初に「今日の CAN DO」を示してからスタートするルールになっています。CAN は「～できる」、DO は「～する」という意味の英語ですから、「今日の授業を受けると、このようなことができるようになるんだよ」ということを示すということですね。ですから、この模擬授業大会は、教え方を向上させようという先生方にとってはよい勉強の機会になると高い評価を受けています。

9. ところで、栃木県には栃木県生産性本部という組織があり、その中にサービス産業活性化生産性向上委員会という委員会があります。畏れ多いことですが、私は今日の第 2 回目の会合で、午後 2 時から 90 分のお話を 2 コマさせていただきます。「サービス産業としてどのように活性化を図ったらよいのか」、「サービス産業としてどう生産性を上げたらよいのか」というテーマで、開倫塾で私がやっていることをお話させていただきます。参加費は無料、会場は足利市研修センター、時間は午後 2 時からですので、お聴きになりたい方はぜひお出掛けください。研修センターは、足利市の総合グラウンドの横にある施設です。もしよかったらお出でいただき、私の話をお聴きいただければありがたいと思います。どうかよろしくお願い致します。